

BCAO 関西支部 5 月度（第 110 回）勉強会議事録

日時：2016 年 5 月 18 日（水）19：00～20：30

場所：大阪市中央公会堂 2F No. 6, 7 会議室

出席：鷺山、伊藤（高）、徳永、野原、田中、中村（和）、平井、増穂、中島、佐々木、浦川、藤村
12 人

司会：藤村 ファシリテーター：野原 書記：藤村

オブザーバー参加：山口成樹林孝則氏（ジョンズ ラング ラサール（株））

中宗根望氏（一般社団法人 tsukuru）

河内保明（緊急地震速報販売センター株式会社）

テーマ：「BCP 策定、維持管理における悩み、問題点の深掘り」

（2015 年 6 月勉強会で議論された関西支部会員の BCP に関する悩みについて、新しく勉強会に入会されたメンバーと経験者の方々と共同で問題点の解決に向け意見交換）

進め方：2 グループに分けグループ討議。討議内容を代表者が発表し全体討議とした。

内 容：チーム報告①：チーム中村さん

BCP 取組の組織が縦割りで横串がない。外資系はトップダウンで進める事が出来るが、日系企業はまとまりがない。日系企業はトップからの指示で、各部門への取り組みは降りては行くが、横（部門間）の連携がない。企業文化で異なるが、連携ができていところはできる。日系企業では体制は決まるが、その先は決まらない。個々組織の役割が余り理解されてないのではないかな。各部門で自衛消防隊等、初動対応について役割が明確になっているが、BCP もその中に役割を設け、行動を明確にするよう考えてもらうのはどうだろうか？

チーム報告②：チーム佐々木さん

統合された企業における BCP の融合について、自社の取り組み内容を説明。統合された 4 つの製造企業を情報システム部門が見ている。昨年 11 月に情報システム部門（2 社）が統合したことにより、情報システム部門の BCP 体制が不明確になっている。統合して半年が経過しているが、情報システム部門（2 社）の既存の BCP 策定状況の把握が進まず情報共有ができない。組織に壁がある。現状把握等で抜けている所がないか、現在の進め方にも不安がある。経営者トップのリードがあまりない。トップダウンではなく、ボトムアップの進め方を模索し、進め方の案を経営者に選択してもらう事を検討している。お互いの企業文化を理解して、ボトムアップで進めていきたい。

全体討議

アドバイス①：チーム佐々木さんに対して

企業はそれぞれの文化があり、なかなか歩み寄らない（寄れない）。ただ統合したからには、現在の BCP の取組実態をはっきりつかむ事が大切。それぞれの会社の重要業務をしっかりと把握すること。

アドバイス②

個々の重要業務を洗い出し、全体の中で優先順位をつけたらどうか？横串という意味で IT というのはその機能は果たさないのか？

アドバイス③

ものづくりのところに IT が入るとやりにくい。情報システム部門でありがちな、「IT 部門では、なかなか優先順位はつけにくい。事業部門で決めてほしい。」といった回答がよく帰ってくる。IT 部門は、業務を知っていないと情報システムの構築は出来ないはず。

アドバイス④

復旧すべきシステムの優先順位付けの考え方について、災害が起きた時にあまり活用していないシステム等、捨てられるものを捨てると言うのも考えの一つである。必ず元通りに戻す必要もないのではないか。まずシステムがなくても紙とペンがあればよいといった考え方で対応を考えてみてはどうか。

アドバイス⑤

日本の BCP は製造業が中心であるが、お金を扱う銀行の決済や IoT によるデータ活用等、IT の重要度が高まっている。IT に対しての BCP 対策は避けて通れない課題である。もう少し、サバイバルなところが有ってほしい。また、BCP 策定の際に、余りお金に対する対策等が語られていない。もう少し BIA の中で検討して欲しい。

・次回支部勉強会は 6 月 14 日（火）19:10 ～

場 所：中央公会堂 B1F No.4 会議室

テーマ：「危機管理取組みの企業事例」

-BCP を中心にグリコグループの危機管理取組について紹介し意見交換を実施-

講 師：江崎グリコ株式会社 飯田清人 氏

以 上